

「身寄りがない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関する研究」班の研究経過報告

研究代表者 山縣 然太郎 （山梨大学大学院 総合研究部 医学域 社会医学講座）
研究分担者 田宮 菜奈子 （筑波大学 医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野）
研究分担者 武藤 香織 （東京大学医科学研究所 公共政策研究分野）
研究分担者 橋本 有生 （早稲田大学法学学術院）
研究分担者 山崎 さやか （健康科学大学 看護学部）

本研究は令和元年に発出した「身寄りがない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関するガイドライン（以下ガイドライン）」の活用状況や活用状況を踏まえた改善点を検討し、ガイドラインを補足する事例集を作成することを目的とした。そこで本稿では、「身寄りがない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関する研究」班における検討会議、調査方法、分析結果、実作業の状況など研究終了までのプロセスに関する経過報告を行う。

A. 研究目的

本稿では、「身寄りがない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関する研究」班における検討会議、調査方法、分析結果、実作業の状況など令和3年度の研究終了までのプロセスに関する経過報告を行う。

（時間：16:00～18:00 Zoom）

第3回班会議：2021年12月6日（月）

（時間：14:00～16:00 Zoom）

第4回班会議：2022年1月28日（金）

（時間：18:00～20:00 Zoom）

これら上記の班会議の開催に加え、打ち合わせを行った。打ち合わせにおいては、班全体の研究の方向性、調査方法、データ解析と評価、作業工程などの詳細な検討や討議を行い、実作業につなげた。事例集を作成するにあたっては、厚生労働省医政局と情報共有し、関連部署および日本医師会等の関連団体との意見交換をした。

B. 研究方法

1. 令和3年度検討会議

令和3年度は、研究班全体の会議（班会議）を2回実施した。班会議においては、今後の全体的な研究方針や方向性の決定、また各分担研究者（研究協力者）から研究進捗状況などの報告や討議等を行い、分担研究者間の情報共有と研究班全体の調整を図った。各会議実施の日程は次の通りである。

【班会議】

第1回班会議：2021年6月16日（水）

（時間：17:00～19:00 Zoom）

第2回班会議：2021年10月15日（金）

2. 研究方法について

(1) 研究内容

令和2年度の質問票調査の困難事例の集約をしてガイドラインでは対応が困難であると思われる事例を作成した。事例は、1. 患者本人の意思が確認できない状況での対応、2. 患

者本人の意思決定を尊重した上での対応(本人の意思を尊重した退院)、3. 患者本人と疎遠な家族との関わり方(家族の役割)、4. 絶縁状態の家族の意見の尊重(延命治療の決定プロセス)、5. 退院後の住まいを確保し生活を支援するための対応の5事例である。これら5つの事例に対して、医療面の課題、事例に関する法律的・倫理的懸念事項を整理し、法律の観点を踏まえた対応案と倫理の観点を踏まえた対応案、対応案について留意すべき事項を事例集で示した。また、令和2年度に実施したガイドライン活用状況の調査において、特に質問が多かった事項(身寄りがいない人の金銭管理の支援と制度の活用)については Q&A にまとめた。(倫理的配慮)

調査は山梨大学医学部倫理委員会の承認(2281)を得た。

(2) 調査実施過程

研究は以下のように計画した。

【全体の流れ】

4月～5月：研究計画書の作成

6月～7月：事例の作成・検討

8月：ヒアリング調査の実施

9月下旬：事例の検討・修正

10～12月：事例に対する対応方法の検討・修正

1月～3月：事例集の素案の作成・検討・修正

C. 研究結果

1. 班会議検討内容

第1回班会議

- ・研究概要の説明
- ・研究計画の検討

第2回班会議

- ・事例集の方向性の確認
- ・事例の検討

第3回班会議

- ・事例案の検討
- ・事例の決定

第4回班会議

- ・事例案の検討
- ・事例集の検討

D. 考察

班会議と打ち合わせによって研究計画を遂行でき、研究目的も達成できた。

E. 結論

概ね研究計画に沿った調査の実施ができた。

F. 研究発表

篠原亮次, 山縣然太朗. 「医療現場における成年後見制度及び病院における身元保証人の役割等の実態把握研究」報告書の概要とみえてきた課題. 実践 成年後見, 201977: 12-21.

山縣然太朗, 山崎さやか. 「身寄りがいない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関するガイドライン」の概要, 実践成年後見, 2019, (82), 37-44.

山崎さやか. 身寄りがいない人への具体的対応, 看護, 2019, 71(13), 74-79.

山崎さやか. 身寄りがいない人への対応について看護職が理解しておくべきこと, 看護, 2019, 71(13), 68-73.

山崎さやか. なぜ身元保証が求められるのか, Community care, 2019, 21(14), 56-59.

山縣然太朗, 山崎さやか. 身寄りのない人、意思決定が困難な人への支援～ガイドライン

作成の経緯と活用の指針, 地域連携 入退院と在宅支援, 2021, 13(6), 49-52.

山崎さやか, 篠原亮次, 秋山有佳, 山縣然太郎: 医療従事者における成年後見制度の認知と理解の実態, 第 78 回日本公衆衛生学会総会, 2019 年 10 月 25 日.

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし